

第6回 総合計画審議会 会議録要旨

1 会議名

第6回 総合計画審議会

2 開催日・出席者等

開催日時 令和2年8月24日（月） 午前9時30分から午前11時10分

場所 須坂市役所庁舎3階 305会議室

3 出席者

(1) 委員

遠藤 守信 委員、高野 健光 委員、遠藤 守 委員、西原 秀次 委員、
永井 康彦 委員、山上 久子 委員、春原 博 委員、神林 利彦 委員、
高橋 洋子 委員、永田 繁江 委員、本藤 浩史 委員、竹前 美枝子 委員、
川口 千春 委員

（欠席）

寺田 克 委員、土本 俊和 委員、二タ村 朝比古 委員、

(2) 幹事

副市長、総務部長、健康福祉部長、市民環境部長、社会共創部長、産業振興部長、
まちづくり推進部長、水道局長、消防長、学校教育課長（教育次長欠席のため代理）、
議会事務局長、会計管理者

(3) 事務局等

特定非営利活動法人SCOP、政策推進課長、政策秘書係長、政策推進課職員

4 配布資料

第六次須坂市総合計画・前期基本計画（素案）冊子【資料1】

パブリックコメント実施要領（案）【資料2】

若者を対象にしたインターネットアンケート調査の結果（速報）

【資料3-1、3-2】

5 内容

(1) 開会

村石政策秘書係長

事前送付させていただいた会議資料ですが、遠藤会長との事前打合せにより、内容に一部修正を行いましたので、本日配布の資料に沿って説明等をさせていただきますがご了承ください。

－委員の欠席連絡等－

土本委員、寺田委員、二タ村委員から欠席連絡をいただいています。また、計画策定

支援事業者のSCOP様にも同席いただいています。

それでは、ただ今より第6回総合計画審議会を開会とします。それでは、次第に沿って進めさせていただく。続きまして、遠藤会長よりご挨拶をお願いします。

(2) **会長あいさつ**

遠藤会長

皆様の参集に感謝。議論もだいぶ進み、須坂市の未来を創るためのバイブルである総合計画の中身がだいぶ整理されてきた。市民がなるほどと思い、感動するような「みらいチャレンジ2030」をしっかり練り上げるため、本日も活発なご意見をお願いしたい。

村石政策秘書係長

続きまして次第3の会議事項に入ります。

会議事項については遠藤守信会長に進行をお願いしたいと存じます。遠藤会長宜しくをお願いします。

(3) **基本構想素案の検討について**

遠藤会長

事務局より概要説明を。

副市長

本日は委員の皆様のお忙しい中でのご出席に感謝申し上げます。事務局説明の前に、これまでの経過も含め、一言申し上げさせていただきます。

前回の総合計画審議会を6月に文書会議という形で通知させていただき、7月上旬までに基本構想の内容についてご意見を頂戴しました。皆様のご意見を総合的に勘案し、庁内策定委員会において各部局の長で十分議論を重ね、検討をさせていただきましたところ、基本構想における将来像を、

「豊かさ」と「しあわせ」を感じる共創のまち 須坂

とさせていただき、将来像案を内部で決定させていただきました。このことについては、皆様にも既に事務局より通知をさせていただき、ご承認をいただいている経過です。

今回は皆様から書面でいただいた様々なご意見をもとに更に内容を練り上げ、パブリックコメント実施前の素案として調製させていただきました。

ここまで、素案を練り上げてこられましたのも、皆様のご協力があったことでございまして、深く感謝と御礼を申し上げます。本日は、仕上がりつつある「基本構想」の部分について、パブリックコメント実施前の総点検という位置付けで素案をご審議いただくとともに、具体的な施策で構成される「基本計画」の部分について概要を説明させていただきます。

須坂市にとって、将来ビジョンを描(えが)き出す、最重要計画となる総合計画ですので、ぜひ忌憚のないご意見を賜りながら、より良い計画づくりを進めてまいりたいと思います。それでは、これ以降、事務局より資料に基づき説明を申し上げます。

中島政策推進課長

－【資料1】(P1～P32)について概要説明－

遠藤会長

ただ今の事務局説明について、ご意見等はあるか。

委員

11ページ、「2030年への展望」について。新型コロナウイルスと気候変動について、書面での指摘事項を盛り込んでいただき感謝。2030年は新技術の台頭により雇用にも劇的な変化。仕事の種類や就業のあり方にも大きな変化が見込まれる。「社会人口の変化」欄だけでなく、「産業経済の変化」欄にもこれら変化への対応を盛り込んでいただきたい。

遠藤会長

重要なお指摘。コロナ禍でDX（デジタルトランスフォーメーション）を中心に社会が回っていく時代。AIやDX、産業構造の変化に対応した対策なども盛り込んでいただきたい。分かり易く言うと、カメラからデジカメへの変化、データ保存、データ共有などを思い浮かべていただきたい。ICT化だけでなくDXにより起きる社会変革にどう地域が対応していくべきか大切な問題である。一つカラムを設けてご対応願いたい。

委員

基本構想の中に観光というキーワードが入っていない。自然や歴史文化については触れているが、これも観光につながり得ること、コロナ禍において観光は大打撃を受けている。一方で地元の人々が須坂の魅力に再認識する良い機会にもなった。その中で基本構想に観光というキーワードが含まれていないのは残念。若い人からは、須坂の場合に観光は必要ないという意見もあるかもしれないが、須坂の良さを発信するものとして、大切にしていかなければならない。県外からの観光による消費という面に限らず、地元の人々が須坂の魅力に触れ、良さを発信することも含め、ぜひ観光の項目や要素を構想内に盛り込んでいただきたい。

遠藤会長

大切なお指摘。広い意味で解釈すれば、観光面もシナリオには含まれていると思うが、もう少し強調してほしいというご指摘と受け取る。「まるごと博物館構想」なども活用した生活密着型の観光も重要であり、須坂の一つのアピールポイント。コロナ禍で自分の住む地域を自分たちが見直す良い契機にもなっている。そのような視点を盛り込んでいきたい。

委員

6ページ、「進取の気性」とは。言葉の意味が分からない。

遠藤会長

新しいものを積極的に取り入れることを意味している。須坂市の農業分野での新品種開発などの面を表現しての記載。そのように理解いただきたい。

遠藤会長

16ページ項目として設けていただいたSDGs関連の記載については市民や企業の認識を統一するという意味で大変重要。

委員

事務局から説明のあったように、SDGsが各施策の取組みと紐付けて表現されることは大変意味あること。また、15ページに表現されている「4者共創」の概念もとても良い。地域で各種団体が活動する際にもSDGsを意識した活動を進めていくことが重要。各団体が役割をもってそれぞれの工夫で様々な取組みを進めていくことが大切と認識している。

(4) 基本計画原案について

—【資料1】基本計画部分（P35～P129）について概要説明—

基本目標1—中澤社会共創部長説明—

基本目標2—小林健康福祉部長説明—

基本目標3—清水学校教育課長説明—

基本目標4—中澤社会共創部長説明—

基本目標5—青木市民環境部長説明—

基本目標6—宮下産業振興部長説明—

基本目標7—上原総務部長説明—

国土強靱化計画部分—中島政策推進課長説明—

中島政策推進課長

基本計画の説明については以上となります。なお、基本計画の各施策の詳細については後程ご覧いただき、本日配布しました意見記入用紙にてご意見をいただきたく願います。

遠藤会長

皆様から、ご意見等はどうか。

委員

今回の総合計画で他分野にわたりICTの記載が見られる。地域情報化計画が総合計画と併設して運用するスタイルが他自治体において見られる。

様々な行政分野に横串を指すイメージで地域情報化計画がある。行政組織内部における情報化やシステム運用の面だけではなく、市町村の場合は官民データ活用推進基本法において計画策定が努力義務になっていることから、今後各種事業の採択やICT利活用の推進という面からも官民データ活用推進計画を作成していくことが本来望ましい。

すぐの策定は難しいが、116ページあたりで官民データ活用推進計画策定検討など含みを持たせておくことも今後柔軟に取り組む上で大切ではないか。計画の中でICTという言葉がたくさん出てくるが、本来手段であるはずのICTが目標化してしまわないか心配があり、指摘させていただいた。

遠藤会長

ただ今のご指摘については、ぜひ事務局で検討願いたい。

他にもご意見が多々あると思うが、事務局で用意いただいた書面にて意見を積極的にお寄せいただくこととし、時間の都合もあるため、この場についてはこの程度に留めさせていただく。

遠藤会長

冒頭の本藤委員の指摘とも関連するため、整理をしておきたい。95ページの「基本目標6」について、「農業、商工業・サービス業…」との記載があるが、ここに「観光」という文言が入らないのは本来おかしいという理解でよいか。

委員

「サービス業」は運輸や交通も含めた業態の定義。「観光」はそもそも分類方法が異

なる。

遠藤会長

そういうことであれば、「観光」という表現をここに含めていただきたい。

(5) **意見公募（パブリックコメント）の実施について**

遠藤会長

事務局から説明を。

村石政策秘書係長

－【資料2】について説明－

遠藤会長

今回実施予定のパブリックコメントで市民等の意見をしっかり聴き、今後素案の修正を含め反映をしてみたい。皆様から事務局説明の内容で承認いただければ、この通り進めていきたいが、いかがか。

一同

－異議なし－

(6) **今後のスケジュールについて**

遠藤会長

事務局から説明を。

村石政策秘書係長

－会議次第に記載の内容について説明－

基本計画部分の説明における補足になりますが、基本計画の施策については資料P34のイメージで記載をしていきます。そのイメージで最終的に作成されることを念頭に、基本計画の各要素についてご確認いただきたいと思います。

遠藤会長

基本計画については、全般的に行政的な印象が強く、まだ完成していない。教育分野もしかり、須坂に魅力を感じてもらうための計画として、市民目線で見ると「夢を感じるような計画」という視点も欲しい。本日は時間が取れず、説明のみとなってしまったが、基本計画については、書面を通じてぜひ忌憚のないご意見を皆様からお寄せいただきたい。

それでは、会議事項が終了したため、進行を事務局へお戻しする。

中澤副市長

本日、委員各位からご指摘の意見はいずれも貴重な内容。再度検討し、素案に反映させていただく。基本計画についてもぜひたくさんご意見をお寄せいただきたい。

6 **閉会**

村石政策秘書係長

本日の会議はこれにて閉会とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

●事前送付資料に対する意見（※文書による委員意見を参考記載）

- 目次、全ページに「取り組み」「取組み」「取組」とあるので統一されたい。
- 15ページで「市民・企業・活動団体・行政」の4者共創によるまちづくり」となっているが、表紙裏、目次、13ページに「行政」が入っていない。
- 13ページの「民間企業」は「企業」で良い。
- 1ページと11ページの「柔軟に対応」というやさしい表現でなく、「危機感を持って対応」の表現のほうが新たな脅威に対して適している。
- 6ページの「進取の気性」の「進取」の意味は何か。
- 9ページの「第5次」は「第五次」である。
- 19ページの水源のかん養「当」→水源のかん養「等」
- 19ページの「低・未利用地」→「低未利用地」
- 21ページ「耕作放棄地の発生防止と再利用による農用地の確保」とあるが、耕作放棄地は馬入れのない農用地が多い。したがって、再利用は馬入れの整備をしない限り難しいので、馬入れのない耕作放棄地はまず馬入れの整備を行ってから再利用できるようにすることが必要である。
- 22ページ「高甫地区」「東地区」に耕作放棄地が多く存在している。このため、この農用地の有効活用を考えなければ暮らしやすいまちを目指すための土地利用は望めない。
- 26ページ「市民の皆様や関係団体」→「市民のみなさんや関係団体」
- 35ページ「あらゆる差別をなくす市民大集会」→「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」
- 40ページ（※当日配布資料125ページ）「国及び長野県」→「国および長野県」
- 40ページ（※当日配布資料125ページ）「国及県」→「国および県」

- 3ページ、須坂市はどんな所？と聞かれた時の伝え方として紹介できる表現になっている。
- 4ページ、人口減少・少子化はやむを得ない現状なので、それを踏まえた市政運営が必要。
- 5ページ、子育てしやすい環境を更に整えていく努力を。例えば、親水公園で遊べる楽しい場所作り（温暖化で暑い夏に親子・祖父母で憩える場所など。）
- 6ページ、産直は非常に魅力的。駐車場を備えた、品物が豊富で規格外もそろった販売所。
- 7ページ、コロナ禍を踏まえた活動が地域の中で根付いていくと良い。勇気を出して「助けて！」と言える地域のつながりが更に必要。
- 8ページ、それぞれの共創での楽しいイベント作りがあると、各世代を通じて楽しめると思うが、今後何年続くか分からないコロナ禍の中で、「密」を避けなければならない現実の課題がある。
- 9ページ、重要度が「低」の中に入る部分の努力。時間に余裕のない世代の息抜きをどうするかで満足度アップにつながる。
- 10ページ、高齢化する世代にとっては交通手段が大きな課題。もちろん、健康寿命維持も大切なフォローだと思う。インター付近の開発を待ち望むところだが、高齢者や障がい者に寄り添った計画を。
- 10ページ、市民の取組み状況が低い部分を向上させていく努力をどうするかを考えていく共創のまちづくりが必要。
- 10ページ、「災害に対する備え」が図式で終わらないよう、日頃の訓練が大切。10年間で

全町（69町）、毎年7町に重点をおいて防災への取組み強化をしたらどうか。

- 11ページ、育児世代の子育てに楽しみながら食育の強化（須坂の味）の環境を整えられるとよい。
- 12ページ、シンプルで分かりやすいスローガンでよい。
- 13ページ、高齢者にはついていけないチャレンジ部門だと思うが、時代の変化に対応していく必要があり、そういう世の中になっているので、今の子供たちを育てていかないといけない。人口減少に伴って、介護関係ではロボットが当たり前になるかもしれない。
- 15ページ、今まで過ごしてきた10年の時代背景と比べ、これから先の10年間の時代背景ではすでにスタート時から少子化・高齢化社会に加えて温暖化やコロナ禍の問題を抱えての10年計画となり、非常に厳しい10年間の試練が待っていると思うが、須坂市の良さを最大限に伸ばせる市民の力で「しあわせ」を受けられる10年後になってほしいと願っている。

- 16ページ、ESG同様にSDGsについても英語表記が必要ではないか。
- アンケート全般について、世代別で見られるとより精密な分析ができるかと思います。

- 17ページ、「ワンストップの子育て支援」とは具体的にどんなことを指しているのか。